





# 箕面の畑だより

5月下旬、たまねぎの出荷準備をされている「箕面市農業公社」を訪れました。今月は収穫されたたまねぎが学校に届くまでを紹介しします。

①



ぬいたあとは、畑で2日間くらい干します。

②



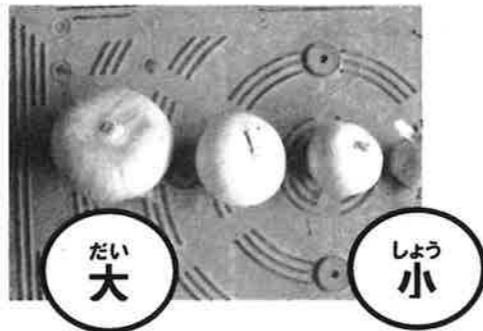
畑で干したあとは、葉を一本一本はさみを使って切り落とします。

③



水分が多いとくさってしまうので、2~3日間、扇風機を使って乾かします。

④



見目で大きさ別に分けます。見目で判断するのは難しいそうです。

⑤



学校別に分けて、出荷準備完了です。今年は300ケース収穫できました。

⑥



学校に届けられたたまねぎは調理員さんが心をこめて調理をし、おいしい給食になります。

農業公社の方にお話を伺うと、「野菜を育てるのは思うようにいかないこともあって難しいけれど、だからこそ、日々の成長を見ることがうれしいし野菜を育てることは楽しい」とおっしゃっていました。

7月は全校箕面でとれたたまねぎです。味わって食べてくださいね。



# 郷土料理で日本一周 <九州・中国地方編>

## 山口県の郷土料理

三方が海に開かれ、自然にめぐまれている山口県は、ふぐを始め全国にほこる農産物、水産物が数多くあります。山口県産の原木を使用して育てられた「ほしいたけ」や水あげが全国トップクラスの「のどぐろ」などが有名です。

### <いとこ煮>

全国的にはいとこ煮といえば小豆とかぼちゃの煮物ですが、山口県では小豆と白玉団子が一般的です。昆布などでとっただし汁に、しょうゆとさとう、塩を加えて味つけし、やわらかくゆでた小豆、白玉団子、しいたけ、かまぼこなどを入れて煮て、冷ましてからいただきます。

## 鳥取県の郷土料理

豊かな土地にめぐまれ、中国山地から日本海に流れるきれいな水が豊富な鳥取県は、古くからおいしい米どころとされています。「柿の葉ずし」や「どんどろけ飯」、「いただき」などお米を使った郷土料理があります。また、日本最大の鳥取砂丘があり、砂地でもよく育つ、らっきょうのさいばいが盛んです。

### <いただき>

大きな油あげに米とごぼうやにんじんなどの野菜を入れ、だし汁で煮た料理です。昔は特別な行事があった時に各家庭で作られ、近所の人に配る風習があり、近所の方の「いただく」という感謝の気持ちが名前の由来になったと言われています。ボリューム満点で、持ち運びも便利であるため、今は運動会のお弁当としてよく作られています。

## 島根県の郷土料理

宍道湖は日本でも有名なヤマトシジミの産地で、しじみ漁の風景は風物詩となっています。宍道湖でとれる《しじみ、うなぎ、あまさぎ、しらうお、もろげえび、すすき、こい》は合わせて「宍道湖七珍」とよばれています。

### <しじみ汁>

ヤマトシジミという大粒のしじみを使った汁物で、しょうゆやみそで味つけしたしじみ汁は、貝のうまみがすべてとけこんでいるので風味も良く、栄養満点です。

### 【調理法②】☆ゴーヤのかき揚げ(19日)

1. 焼き竹輪は半分に切って小口切り、にんじんはせん切り、たまねぎはうす切りにする。にがうりはうす切りにし、水にさらしておく。
2. ちりめんじゃこはさっと湯通しする。
3. 材料に塩、上新粉、水を加えて混ぜ合わせ、スプーンなどで食べやすい大きさにとり、油の中に落とし入れて色よくあげる。(材料から水分が出てくるので、様子を見ながら水を加える。)

